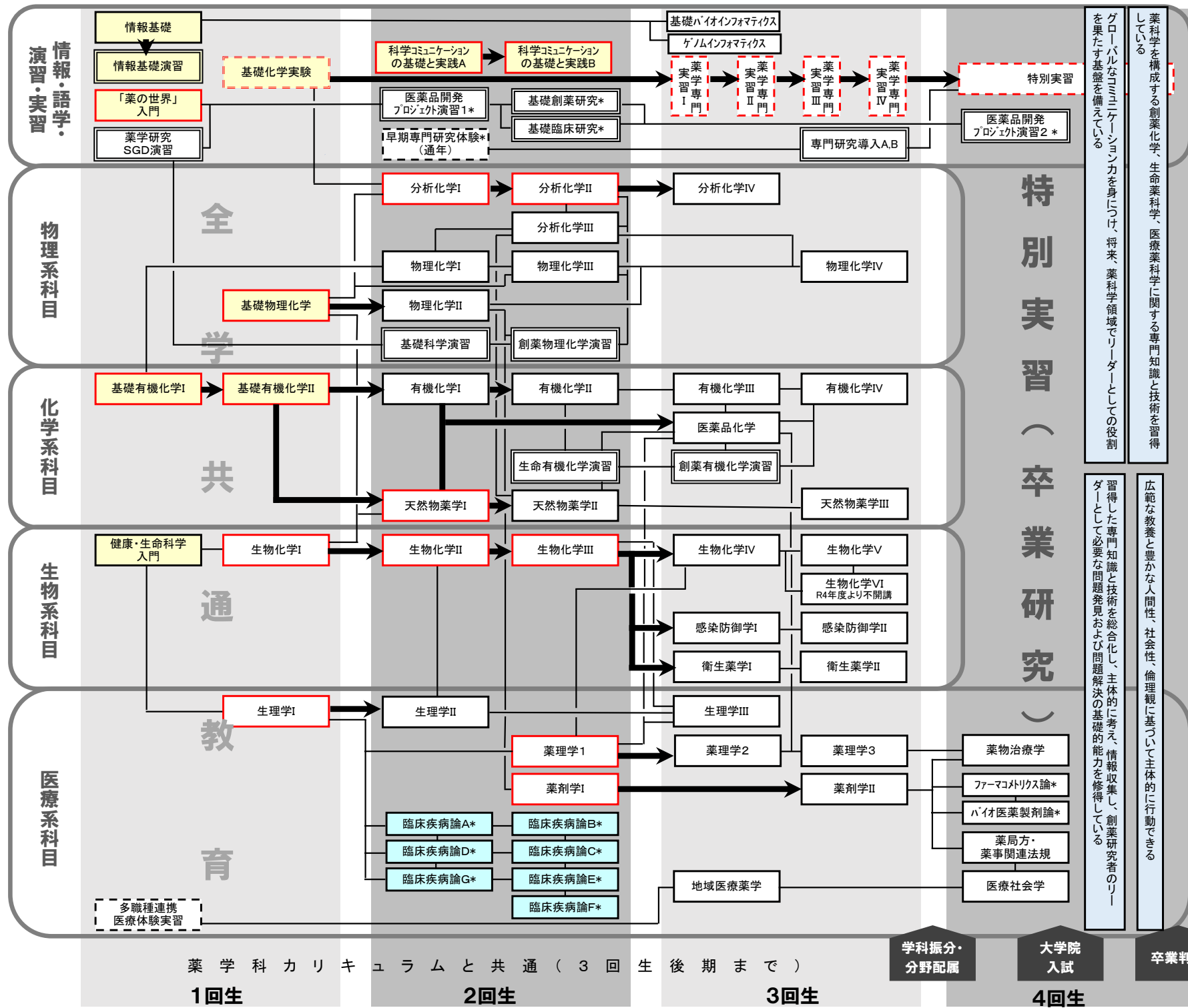


薬科学科コースツリー(2018年度以降入学者)

2回生指定以降の科目は、2～4回生のどの学年で受講してもよい。但し、受講の前提となる科目が指定されている場合、その単位取得が必要である。(シラバス参照)



大学院進学(博士前期)→博士後期課程、就職など

薬科学を構成する創薬化学、生命薬科学、医療薬科学に関する専門知識と技術を習得している。
グローバルなコミュニケーション力を身につけ、将来、薬科学領域でリーダーとしての役割を果たす基盤を備えている。

広範な教養と豊かな人間性、社会性、倫理観に基づいて主体的に行動できる。
習得した専門知識と技術を総合化し、主体的に考え、情報収集し、創薬研究者のリーダーとして必要な問題発見および問題解決の基礎的能力を修得している。

凡例:

- 全学共通科目
- 薬学部専門科目
- 他学部開講科目
- 必修科目
- 演習系科目
- 実習系科目

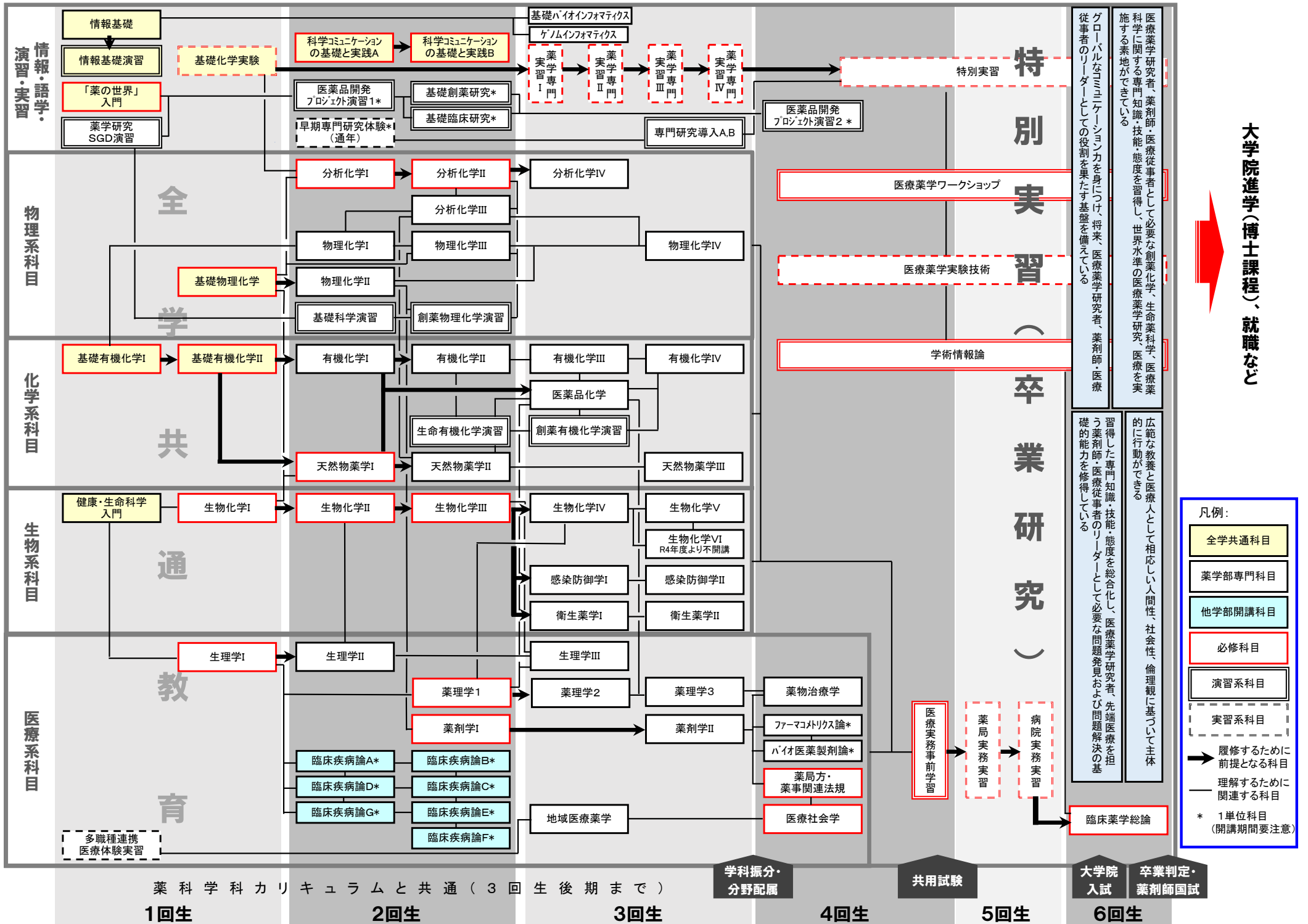
→ 履修するために前提となる科目
— 理解するために関連する科目

* 1単位科目 (開講期間要注意)

薬学科カリキュラムと共通(3回生後期まで)

薬学科コースツリー(2018年度以降入学者)

2回生指定以降の科目は、2~6回生のどの学年で受講してもよい。但し、受講の前提となる科目が指定されている場合、その単位取得が必要である。(シラバス参照)



大学院進学(博士課程)、就職など

医療薬学研究者、薬剤師、医療従事者として必要な創薬化学、生命薬科学、医療薬科学に関する専門知識・技能・態度を習得し、世界水準の医療薬学研究、医療を实施する素地がでている。

グローバルなコミュニケーション力をつけ、将来、医療薬学研究者、薬剤師、医療従事者のリーダーとしての役割を果たす基盤を備えている。

広範な教養と医療人として相応しい人間性、社会性、倫理観に基づいて主体的に行動ができる。

習得した専門知識・技能・態度を総合化し、医療薬学研究者、先端医療を担う薬剤師・医療従事者のリーダーとして必要な問題発見および問題解決の基礎的能力を修得している。